



日本基督教団 梅ヶ丘教会会報

ぶどうの木

発行人 牧師 広田叔弘
企画編集 広報委員会
www.church.ne.jp/umegaoka/
2025年 9月28日発行

〒155-0033
東京都世田谷区代田 3-37-7
TEL : 03-3414-5772
FAX : 03-3414-5778

第267号 2025年10月号



『あなたが必要なわけ』

牧師 広田叔弘

あなたがたはキリストの体であり、また、
一人一人はその部分です。

コリントの信徒への手紙一 12章27節

マルコによる福音書が書かれたのは60年代。マタイとルカは80年代。ヨハネは90年代に書かれたと考えられています。教会はすぐにも主の再臨があると信じていました。ところが再臨はなかなか来なかった。そこで教会は、ただ再臨を待つのではなく、福音を伝える必要性を自覚します。伝道するためには、イエスの言葉と業をまとめた文書が必要となります。また試練や困難のある中、イエスをどのように理解して信じるのかを学ぶ必要がありました。このようなそれぞれの必要に応じて、教会の中に福音書が誕生しました。

物に正面から光を当てます。扁平に見えるでしょう。しかし、横から、後ろから、多角的に光を当てれば立体的に見ることが出来ます。4つの福音書は、ひとりのキリストを4つの角度から照らします。主の御姿を立体的に映し出すものだと言えるでしょう。

少し大胆ですが「私自身が福音書」と考えることが出来ると思います。主を知りました。信仰をいただいています。様々な失敗や挫折

も経験しているとおりです。そしてこの中で、主の恵みを深く教えていただきました。私たちはひとりの主を信じていますが、人生の日々に刻まれたキリストは、私だけが知っている尊いお方です。マルコがマルコの、マタイがマタイの福音を語っていくように、一人一人が与えられた福音を宿しているのです。

10月19日(日)の礼拝後には、『恵みを分かち合うー私の好きな聖書のお話ー』があります。信仰の学びと交わりのときです。難しいことをするではありません。発題者の発表を聞き、それぞれがいただいている恵みを分かち合います。また、信仰生活の中で覚える素朴な疑問や躓きになるところを共有して、乗り越えていく機会にしたいと思います。

冒頭の言葉はパウロが示す教会理解の一節です。教会に集まる人々は多様です。そしてそれぞれの多様性は愛と信仰の一致によつて互いを生かす豊かさに変わります。それは、マルコにないところをマタイが語り、マタイにないところをルカが語る有様に似ています。「私なんか・・・」と、思うことがあります。しかしそのあなたが他にはない恵みを宿しています。一人一人が小さな福音書なのです。このようなわけで、隣人にとってあなたが、あなたにとって隣人が、必要です。共にひとりの主を照らし合って歩んで行きましょう。